

H. P. R e p o r t

ホームページのアクセス制御（1）

インターネットで公開されたホームページにはあまり無いかもしれませんが、社内で使用するイントラのホームページにはアクセス制御がよく用いられています。普通のホームページでは、会員用のページに入る際にユーザIDとパスワードを入力してそれ以降は入れなくしている場合があります。この場合は、入れるか入れないかですから、入り口の検問のようなもので、その中でさらにアクセス制限をかけようとするれば、又ユーザパスワードを使うということになります。このようなアクセス制限の場合、ホームページのディレクトリ構成を作るときに、アクセス制限するディレクトリと、しないディレクトリを分けて、ディレクトリ単位で制限することになります。アクセス制限は、使用するWebサーバのOSによってもその方法は違います。Unixの場合は、apacheがWeb用のソフトとして主に利用されていますが、標準的に「.htaccess」というファイルがあって、アクセス制限のシステムを簡単に構築することができます。このファイルの利用については後に回すとして、実際のアクセス制限はどのように利用されているのでしょうか。

一般のホームページは前に書いたように会員のページであったり、内部データと外部データの境であったり、別のサーバへのリンクであったりしますが、企業イントラネットの場合は、もっと細かいホームページの使い分けになります。以前であれば（以前といっても大分昔ですが）、会社内にいるのは社員だけで、もしそこでイントラネットが構築され、ホームページが存在したのであれば、アクセス制限の必要は無く、せいぜい社外からのアクセスが内容にしっかりファイヤウォールを構築されていれば問題が無かったと思われます。しかし、現在の職場では、社員以外に派遣会社からの派遣社員や契約社員、関連会社からの出向社員、教育受け入れ社員などいろいろな人たちがいます。イントラネットの社内ホームページは社員間の情報共有のためのものですから、簡単な連絡事項から、人事連絡、受注、出荷、売上情報や顧客情報などいろいろなものがその中に含まれています。社員であれば、当然人事情報なども見ても問題ない情報ですが、人事や受注・売上情報、重要顧客情報、社内の概況などの情報は、関連会社といえども見えない情報にする必要はあります。特に、近頃のこれらの情報は電子ファイルとなっているため、簡単にダウンロードしてメールに添付して送ることもできてしまいます。社内にいる人間はすべて悪いことをするはずが無いという思い込みは、これからは考え直したほうがよいように思います（どうも日本人の考え方は、一緒に働いている人や身近な人を美化するところがあるようです）。そこでアクセス制御が必要となれます。いっしょに働いていても必要でない情報は見えなくするというのが基本です。これまでのように、大事なものもファイルされてロッカーにあり、誰でもが見ることができるという状態では、これからは問題があるということになります（別にこれまでが問題無かったというわけではないのですが）。そこで、ユーザ、パスワードを入力して、その情報にアクセスしようとしているのが誰であるかを認識して、アクセスを許可するかどうかを判断しようとする仕組みが必要となってきました。といっても、細かくファイルごとに設定するのではなく、ディレクトリごとに設定し、許可された以外からのアクセスについては、アクセスを拒否することというのが簡単です。この場合、アクセス制限されたディレクトリにファイルを入れるだけでアクセスを制限することができます。このような「.htaccess」を利用した方法を次回説明します。（次回に続く）

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 1月19日号

特集 マンモス・コーデックと呼ばれて

→映像符号化の国際標準規格として、MPEG1、MPEG2、MPEG4が有るが、その次の方式「H.264」が登場する。H.264はデータ圧縮率がMPEG2の3倍、MPEG4の2倍と高く、12cmDVD並みの映像が6cmのディスクに入り、これまで距離で品質に差の出た通信サービスの格差も縮めることができる。一方開発は、マンモス・コーデックとも呼ばれる膨大な符号化処理をどれだけ削減できるかにかかっている。

解説 デジタル家電に思わぬ衝撃放つ次期Windows「Longhorn」

→2006年ごろに市場投入となる次期Windows「Longhorn」。その目玉機能である「WinFS」というファイルシステムに注目が集まり始めた。WinFSは、ファイルシステムにデータベース技術を加えるもので、HDDの中を縦横無尽に検索できるようになる。これは、ホームサーバとして必須の機能で、まだAV機器メーカーは手付かずの状況。

○日経パソコン 1月19日号

特集 さらば標準設定

→OSもOfficeも標準のままではいろいろ使いにくいところも出てくることがある。Windows XPではマイコンピュータが無かったり、クイック起動が無かったりするが、設定で出すこともできる。Officeでは、メニューをはじめから全部表示させたり、使わないボタンを隠したりすることもできる。標準設定でない使いやすい設定にしてみるには。

特集 パソコンで広がるデジタルライフ

→放送や映像ソフトのデジタル化が進み、パソコンをデジタル家電の中心に使う環境が整ってきている。実際に使うにはどう使えばいいのか。新しく買うのではなく、いろいろ組み合わせてこんな方法が。

○DOS/V magazine 2月1日号

特集 ミニベアボーン完全武装計画

→自作パソコンにキューブ方と呼ばれる1つの分類があり、一般的にミニベアボーンと呼ばれる。はじめは数が少なかったが、ここへきていろいろなものが製品化されている。拡張性は低いですが、小さくてもなかなかの高性能になっている。

特集 鉄壁セキュリティの方程式

→ネットワークが高速になり、いろいろなウィルスや悪意のある攻撃が話題となっているけれども、使っている人はなかなか自分のこととして考えていない。現在のシステムが本当に安全かという検証から、その対処方法を解説。

